

有田書所師宣子



しゆらねあやかん

享和元年七月発板
細見ヨコ本此より

うけとれ

明和五年夏五日板
後宅細見此のより

天保五年五月



○右の如くあらけし改り多し又明和
五年秋の改宅細見を一つら
みとらつくるなりそし今又
むやうれあやとひうの案
と改るむけ對とす

○方記考卷四享保十三年卯本
細見之図并西庇巴言一なり
之尾あり享保十五年板本西巴
庇言ナリ尾あり此之尾享保
十三年にもあるなり土廓多し
此記より其申し月改とあるが
享保十三年七月の発兌あり
と明け
さるひは此よりさる尾あり
考より十代より尾土廓の
享保
十三年七月にさるる
と明く
○享保十三年卯本
姫の式より
此女若衆ハ此記江戸二十日
下子内よりさるる
又曰

子曰く...
二目...
夫人...
姫の式...

○は記中...
見...
三月...
...

○...
実名新吉原細見之図
享保十三年秋七月発兌
...

○...
実名飯宅細見記
明和五年...
...

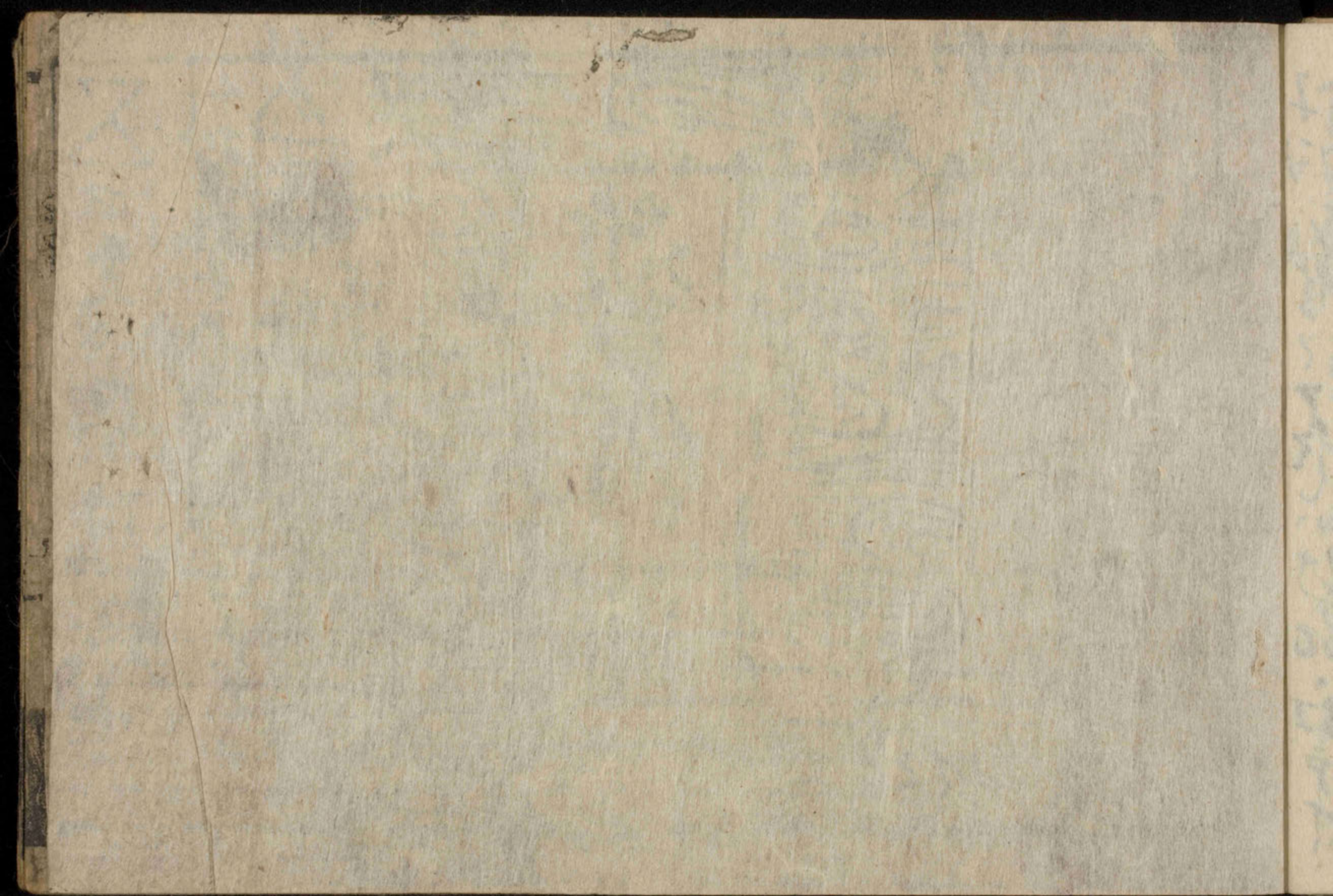
此の書は國でとらへられし
今より五十年ほど
前永正三年に成りて八十二年
に及ぶに此の書は永正元年
細川氏の奥祖より成りし

前永正三年正月

のしねまが

心算金より





又下太史公序補持

三下梨

井下格字八初格持

梨令少帝
梨入三

△元初方初下初令

下初方初

新

新言原細覽圖

板

每月改

元板

元板

中産三



人勅 中丞



新中



漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方
 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方
 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方
 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方 漢方

[illegible]

江戸の在

わきふん

だうやふき

△ 新



△ 新



△ ちんちん 八重木
 △ うぐいす 木
 △ きんぎょ 木
 △ りんご 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木

△ ちんちん 八重木
 △ うぐいす 木
 △ きんぎょ 木
 △ りんご 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木

△ ちんちん 八重木
 △ うぐいす 木
 △ きんぎょ 木
 △ りんご 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木
 △ うさぎ 木

之祖



新 中産



新 中産



一 新 中産
 二 新 中産
 三 新 中産
 四 新 中産
 五 新 中産
 六 新 中産
 七 新 中産
 八 新 中産
 九 新 中産
 十 新 中産
 十一 新 中産
 十二 新 中産
 十三 新 中産
 十四 新 中産
 十五 新 中産
 十六 新 中産
 十七 新 中産
 十八 新 中産
 十九 新 中産
 二十 新 中産

一 新 中産
 二 新 中産
 三 新 中産
 四 新 中産
 五 新 中産
 六 新 中産
 七 新 中産
 八 新 中産
 九 新 中産
 十 新 中産
 十一 新 中産
 十二 新 中産
 十三 新 中産
 十四 新 中産
 十五 新 中産
 十六 新 中産
 十七 新 中産
 十八 新 中産
 十九 新 中産
 二十 新 中産

一 新 中産
 二 新 中産
 三 新 中産
 四 新 中産
 五 新 中産
 六 新 中産
 七 新 中産
 八 新 中産
 九 新 中産
 十 新 中産
 十一 新 中産
 十二 新 中産
 十三 新 中産
 十四 新 中産
 十五 新 中産
 十六 新 中産
 十七 新 中産
 十八 新 中産
 十九 新 中産
 二十 新 中産

江戸中丸リ

○ 俵 新選

ハ花うう今更くさう
ハよりちきこの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの

○ 新選

ハ花うう今更くさう
ハよりちきこの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの

○ 新選

ハ花うう今更くさう
ハよりちきこの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの
ハよりまはるの

大徳寺



山
 の
 い
 え
 う
 ん
 ま
 や
 あ
 ま
 と
 こ
 よ
 山

山房集



中唐



(Faint handwritten Japanese calligraphy)

愛天齋

卷之五

[illegible]

子思子

生もの
 千石の
 ありは
 ぞぐ
 木

とよあ
 とよさ
 くの
 井と

[illegible]

中産三



中卷



中彦又



今や、
 金をせう
 あぐち
 たん
 いまも
 まるく
 わりわ
 にふふ

中乃為無名氏

みはるせうと
半冬更

ひらき
の井

三

音

さうさんで
ふんま
そとち
わすの
しらす
あま
りち

三才圖會

命

[illegible]

王右軍



合初 卷三

[illegible]

孝

中唐



松島万松也
松島萬松也
松島萬松也
松島萬松也
松島萬松也
松島萬松也
松島萬松也
松島萬松也

松島萬松也

うゑやうちり

うしつ 橋ぐわをち



あまのうたふき
あまのうたふき
あまのうたふき

沈氏五子

天



わきんと

りも平たなり

わたりおとろちあふ
かきくはるいそり
のうたをうたひて

此の書は

小太史
 史記

[illegible]

多歷年所

知照下目石



わいふと
たれと
あふと
あふと



松

小松也



やうやう
ええええ
うううう
うううう
うううう
うううう
うううう
うううう

了石投す

[illegible]

一丁見蘭州
 一丁見蘭州

一寸見世圖

新巻



新巻



新巻



いづれに
すまは
いづれに
かきつる

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

いづれに
いづれに
いづれに
いづれに

中產三

[illegible]

中卷



贊

[illegible]

中產云



秘

[illegible]



新

[illegible]

和歌集



中丞

[illegible]

卷之五



八
新

れとての
なりふら
けふや
わがふ
わがふ
わがふ
わがふ

南や左馬

中產

辰子風



新書



わ

新

藥

[illegible]

りてふふふふふ

木石交

松山也
せうと
多し人松
中々
万石史
松井

[illegible]

大呂布

ふふやん

竹石

[illegible][illegible]

角町分たりる

新



中邊云



新



世にあり

乾月

かみゆき

夢

初

花子

方學名

△ 中 卷

物事の
久々

ふやちち

九十九

市之

字海

新刊

卷之四

五

いのちのき

高松

かぶき

新羅云



翁言



A circular library stamp, likely from the University of Toronto, featuring two horizontal lines across the center.

[illegible]

新中座二



八
新
舊



八
中
三

泉



わんと

不

とらふ

[illegible]

梨子線

〽 〽 〽 〽
 小 井 〽 〽
 〽 〽 〽 〽
 〽 〽 〽 〽

大正五年

[illegible]A circular stamp containing two thick, horizontal, slightly wavy black bars. The stamp is located in the upper left margin of the page.

八

學記

古

方應麟



かたがひにせむ
うきうきと
やわやわと
さあしと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと

山崎家系

大いそ
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと

山崎家系

うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと
うきうきと

山崎家系

十

中丞

見ふ村みも
せむきこも

秋風

多也
多也

卷之四

中書

平水書局

京町一町目

右

奎



三浦四郎



井邑

[illegible]

太史
馬尾

享保三年

一本ニハサクノ如ク

アリエスナハチ

代目ノ子尾

ナリ

己ヲ加子レバ
ハ細ニ中ノ

太丈士人馬

小松
廿二
志の
うめ
うめ
うめ
うめ

[illegible]

孝

山の井

僊



市河のふもと
まきばたに
なる所
なり川
なり山

昌

呂氏春秋

新



(Faint handwritten Japanese text)

張氏以爲

新崖三

鐵屋

〆 〆 〆 〆 〆
 あり あり あり あり あり
 あり あり あり あり あり
 あり あり あり あり あり
 あり あり あり あり あり

世之守身



〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の

たつや雲



〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の

たつや雲



〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の

たつや雲



〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の
 〆村王の

たつや雲



吳王夫差



山谷先生



聖賢之書

漆



市市市
市市市

みかたのう

三

みまゝ

京町目

中
居

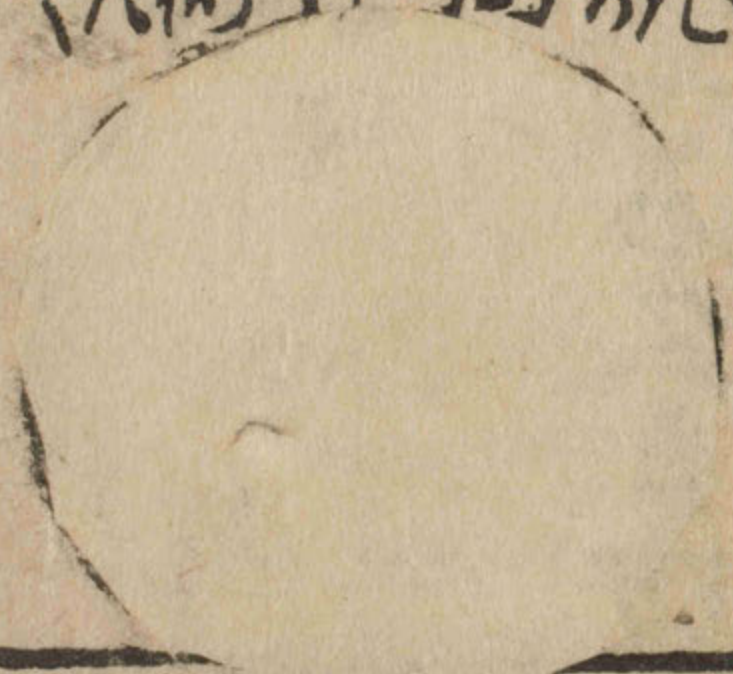
井
三
浦
孫
三
弟



大天

夢遊山

Handwritten Japanese calligraphy in cursive style (sōsho), consisting of two horizontal rows of characters.



三

志はくより
存す

三浦

太夫

みう
人
死

井之口

新刊の
子死

三浦源氏良

存

事々々々々々々々々々々々
 村々々々々々々々々々々々
 々々々々々々々々々々々々々々
 々々々々々々々々々々々々々々

金中

長崎

志のめ

長壽寺

花案

新墨

[illegible]

夢

卷之六



父新聖

京

中庭六

和齋

中

桐廬



多
 少
 大
 小
 高
 低
 長
 短
 遠
 近
 深
 淺
 廣
 狹
 厚
 薄
 多
 少
 大
 小
 高
 低
 長
 短
 遠
 近
 深
 淺
 廣
 狹
 厚
 薄

女中

うまき
ともんと
まのひ
まの川
まの川
まの川
まの川

東坡先生

和歌山 市川 市川 市川 市川
市川 市川 市川 市川 市川
市川 市川 市川 市川 市川

乃公乃父

[illegible]

ちなりやちん

ふのき

新中

新中

中屋

松崎
 市村
 市村

李氏

あふと　　あふと　　あふと　　あふと　　あふと
あふと　　あふと　　あふと　　あふと　　あふと

史記

學成五禽

西子之方也
初之方也

卷之五

とくせと事に行なひ
いとせりやとあるまふ

松子石氣

わきんと
中やひき
日
りききき

り要る

大

中庭

井
あま川
あま川
あま川



今山をたふさき
わがきく
の川
村也

奇珍堂



中書

わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ
わびまゐ

想中意

卷之四

金剛經

新書



中葉

[illegible]

中丞

[illegible]

るを盡す

わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ
わがまゝ

わがまを



Seal script character for 來 (Lai).



命案



健



京師北門

あふの
うとま
おの
さよ
れい
みくも
かきり
すけ

あ
うとま
おの
さよ
れい
みくも
かきり
すけ

中

[illegible]

李

死方々
子光
弱
い

卷之六

中丁のなぐり

中

不食竹筍所製

十九

翁 璫



中道
新



中差

長



[Handwritten Japanese calligraphy]

此下爲

花山より木
 芳井より一
 志ふふ方まで
 まよふたつと
 あまのりく
 まよふて
 今川は井に
 まんよ
 はんき
 田のや

昇平盛

小室
山崎
西村
金丸
山崎
山崎
山崎
山崎
山崎
山崎

名流名流

中卷七

娘

[illegible]

如法

窟

[illegible]

山陰王良

[illegible]

五子集

中產子

卷之四

わさねのみと

まふみ

五

中產子

奎臺

[illegible]

わさねのみと
あうやうぞ
ろ月

大令

翁中丞

[illegible]

如欲在

わんた
きよた

いすま
坂さ
いりくふ
あきよ
ちよ
松しよ
松しよ
生ら

せ
う
た
た
る
か
川

子江集



かみきり

ひき

ひき

ひき

ひき

ひき

ひき

ひき

ひき

ひき

ひき

あー入

あー入

あー入

あー入

あー入

あー入

あー入

あー入

あー入

あー入

山ノ下

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

●三ノ下ノ山

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

わき木はせんき
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの
へんきやうの

齋

目上

Handwritten signature: *James M. Smith*

●うゑふさ
さんど

卷之三

●ののち

● 忠臣蔵

卷之五

[illegible]

● どの人もほろろ
小たまのうらな
おたまのうらな

۱۹ - مسوول

卷之五

五ノ
 五ノ

七
 八

卷之五

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

鄭玄

[illegible]

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

金龍寺

五言古詩

三十一

おきくはふのうら

おきくはふのうら

●おきくはふのうら
みきくはふのうら

●たきくはふのうら
りきくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

おきくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

●おきくはふのうら
ききくはふのうら

おきくはふのうら

おきくはふのうら

甲子年
八月廿五日
申時

壬月一日八日土二日五
十七日六日

お人の中々万重
ゆき小重

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

うきうき

花下草

Handwritten signature or name, likely "M. J. ...".

自

人

山陰外史

Michaelmas

入

萬壽無疆
 萬壽無疆

卷之八

入

竹葉

卷之五

卷之五

三

卷之五

卷之六

やうきや

わさんと

紅尖走

か
た

三才
又

五

平

三
三



うや

卷之四

卷之五

八卷

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, appearing on a piece of aged paper.

七

三
 二
 一

車方

[Handwritten signature]

卷六

11/2/21

卷之五

...

卷之三

24

十

五

五
子
山
竊
錄

十

5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527
 528

此乃
時所
入之
心也

齋

所番

大門口品良兵衛
女中見物安の
時公方より中
大門口より中

郵傳部

廿一

[illegible]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

Handwritten musical notation on staves, likely from a manuscript.

角丁通

[illegible]

しるしをきく

わがらや

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

いぬし

右部見之圖

吊行の儀ハ毎月相改女部

かたはしと新造府浦持の

人かたはしと新造府浦持の

人かたはしと新造府浦持の

人かたはしと新造府浦持の

湯嶋天神宮下極元

享保三年

月改

山田見死中
あゝ切なきこと
わらわをぬきとて
おぼしめされしに

太夫

檢亭人

揚子

七
行

そちを平とちるるを去るる
あを他白老何れ多うや
今もあうと外に金むのう

天保五年端五藏



○
と
成
う
れ
た
る

○と成る所あり

明和五年新吉原移り此
飯宅細見記ナリ

ふれ之子至ハ十二年ニ及

○明和五年四月五日新吉原
江戸下ニ目ヨリ定むコト今
地ニウツリテヨリ百十二年ヲ経テ
始テノ大災迄ハ九年九月迄迄
来テ不沙汰ウツル

○江戸砂子神二之巻云「新吉

原明和五子年四月五日焼失
云ト見エタルコレ之サテハ記

免ノ年号ヲ關トイヘ凡テ序文

ニテ年百十二年ニ及テ云ト

イハレ明和五年ニあリハ年

四五月ノ頃ニ来レモノナルヲ
シルベシ

○サレバ明暦ノ災後龍泉寺
村に移リテヨリ百十二年ノ
間廓中不姓ノ焼亡ハナカリシ
之カニバケ記ハ仮宅細見記
ノ鼻祖ナルモナリ

○日江戸砂子補三明和八年
卯四月廿八日揚屋町死河
岸村をヨリ出火廓内又砂
ラズ焼失け時モ丸斎妙拙
ハ砂ル善清お來ノ者ハ今戸
招迎ル國招迎ニ仮宅シテ
夜見世等モ出シ後ハシリ漸
善信モ出来冬ニテニ砂ラズ
引後リヌトイヘル又四年メ
ノ焼失ナリ
燒失ニ及クナリ

○大上総金治るる地名市
焼亡ナリヨリ所古来

焼失るるナリ

○大上総金治るる地名市

テ名トヨビテ當時名ナリ

此家は細見甲見エナホ元

比へ引後十月、細見記ニモアリ

明和二年正月、細見ヨリ見

エズヨリテ按ルニは明和五年

絶シニヤ

○因ニ記今予ガ記此ノ事始ノ

小橋ヨリ此ノ方へ移ルニ

目ニ流後えん祖は付家ナ

カ別宅ノ地アリ後ニ新去来

上総をト云は女

今ハ記ニヨリテ按ルニ名ノ

大と強や市磨ナルベシムハ此
三ノウ入ニサコトエヤウ玉金
ニ寄日大らさるカハハ向
此とトアルニヨリテハナホ
其の此カニ今戸辺ニモ
完アリレトオボシ

おふニナアム

片度ナカ

心陰をニム

付何成るニ事由ニ

付付の成る二年酉之元
 ト一系新焼しと回年
 とは新吉原より川をぬ
 せぬもいさく普請をさ
 する者も此と戸山を村
 修せしとて申付とて年
 百十二歳に人々五丁百
 焼をさりとて年とてむし
 たりとて仮住居のり人
 ありとて其年とて
 なるしとて年とて
 村の焼のり人
 なるしとて年とて
 なるしとて年とて
 なるしとて年とて

堀舟竈橋より土手分

みくらや

むらてや
まらや

ほてい
さかや

高橋

りくらや

とみくらや

あくらや
あくらや

はらや

今込
肉金

とくらや

大黒屋辰介

京町 清や

かーはのくらや

江戸町 ひきや

二丁目くらや

江戸町 いせや

二丁目くらや

かーはくらや

新町
かへはく

二丁尾張邑丞

角法之屋

京都のいざや

寸
田松屋文四郎

二丁目一里也

江戸町かきまゝ

新加坡

京町松屋

This image shows a vertical strip of a book cover, likely the spine or a hinge. The material has a dark, heavily textured, marbled appearance, possibly made of paper or cloth. The colors are predominantly dark brown and black, with lighter, greyish-brown veining and mottling throughout. The texture looks fibrous and uneven. On the far left edge, there is a thin, vertical strip of a lighter, tan-colored material, which appears to be the inner hinge or binding of the book.

京町大ひや

おむしや

おむしや
お田町に
京町いせや甚々

大津金
くけや

江戸町
二丁め
桐金吉屋

ながさきや

目丁
大とりの金

山手金

京町
永らくや

市川金

目丁
まくりや

つしまや

すゑ町
大とりのや

やなぎや

旧丁
大とりのや
おとりのや
おとりのや

かきや

京町
かきや

若屋
おとりのや

江戸町
大とりのや

さくらや

江戸町
大とりのや

のりや

新町
はりの金

おとりのや

南町
おとりのや

おとりのや

おとりのや

おろのわ
おろのわ
おろのわ

角あんなじわ

おろのわ

糸町おろのわ
糸町二丁

金川屋

おろのわ
おろのわ

尾張屋

新町なうのわ

おろのわ
おろのわ

江戸町石室や佐々

おろのわ

二丁目おろのわ
糸町二丁

おろのわ

糸町おろのわ
おろのわ

おろのわ

糸町おろのわ

おろのわ

糸町おろのわ

おろのわ

二丁目おろのわ

おろのわ

糸町おろのわ

おろのわ

糸町おろのわ

山ノ宿

新町 ちんせんや

けい場

京町 大めんや

同

江戸町 玉屋の宿

同

新町 かなや

みのり

江戸町 玉屋の宿

同

大か門 玉屋
おとけのり

同

江戸町 海門の宿

同

新町 中あやや

新町 ちんせんや
おとけのり

大のな 玉

山ノ宿

京町 廟金新八

田所 ちんせんや
中玉名

二丁 ちんせんや

田所

京町 ちんせんや

中屋

同店

並本町

かきやう屋
京町かきや

同

同 美中の屋
おさうをさうにさう

同

同 西津屋や善義

同

同 田原屋や善義

同

同 町廟屋や善義

同

同 下

同

同 金甚善義

吉原京町

丁子屋長十郎

新町

相ひや

竹門屋

西津屋や

矢立原内角

本町大味屋

新町
二丁に居る

同ひや指考

古一場
通り

かー中国屋

古一
古一

新町上城屋

古一
古一

丁上町上城屋

古一
古一

同いふ古一

同

同いふ古一

田町上

同いふ古一

町上

京町田町上

堀かー

二丁目八丁

馬場

同いふ古一

田町上

同いふ古一

同二丁目

江戸町上

大坂町上

京町上

江戸町上

新町上

大杉ヶ新

系町とんや

居申

新町とんや

山崎町
居申

すゑ町
清太郎

系町山本

花川戸

うーあけまや

堀さきや

かー竹門

さうてん所

かーともえ屋

同

かー志がの屋

同

あー子内川屋

山川丁
居申

同 名義屋

かき所
居申

同 けのふ屋

さうてん所

同 杉り屋

同

あまきやあみ屋

同

わけや町に いそ屋
治家

同

同

所 いそ屋

さう入所

同

市 いそ屋

同

同

後 いそ屋

同

同

子 いそ屋

同 いそ屋

同

津 いそ屋

同 いそ屋

同

杉 いそ屋

同

同

む いそ屋

同 いそ屋

同

利 いそ屋

同

同

森 いそ屋

同

い いそ屋

角町

いそ屋

角町河原

かゝる

つゝ

なる

あつ

いぢ

ふい

甲つ

すゝ

きつ

みゝ

かゝる まのーや後河原

吉原けし者乃初

浅草田町少あ 十すえ紫例

口所 聖氏 後三

口ちや面所 考竹志はま 聖氏 表七

けと小の家

口面所 聖氏 考竹志はま 表七

口所 竹本とき

口所 蜀漢文以

口所 名 考 蜀漢文以

口所 とまや音就

口所 考 竹本とき

口 竹本とき

口 考 竹本とき

日

い

日

こころう新八

日

十すん東例

日

十すん東佐

日赤色登店

ふさや彩次

日

部 八千七百五

日

とききはひきま

日

きうて金 山万金

日

きん平次

竹 ちんやちん

けい 山

田所 ちんや

竹本つばき

口赤 ちんや

十すん彩九

中 ちんや

きん 山

上川 所

けい子と免

台 ちんや

日 いち

新 ちんや

きん 山

田所

きん 山 八十五

並木町 宮崎 坂 沢 林 森

あまのりや 二つ あまのり 中 田

ふ あまのり け あまのり 子 あまのり さん

る あまのり 中 田 日 あまのり 越

大 津 登 向 同 了 上

せ あまのり 人 所 あまのり 正 統

ち あまのり ば け あまのり こ ひ あまのり て

あまのり ば あまのり い あまのり の あまのり ち

せ あまのり 人 あまのり ん 若 所 新 ち 史

け あまのり い あまのり こ と あまのり よ

竹 本 秋 ち 史

口 本 母 氏 平 吉

け あまのり こ 了 上

あ あまのり こ 所 中 仲

そ あまのり 我 あまのり の あまのり あ あまのり り あまのり こ あまのり 女 あまのり 所 あまのり や あまのり る あまのり あ あまのり る

中 町 系 屋 の 部

中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

日 中町系屋乃部

こぬく

ちとや久七

田所

いさやまふ

はるきや

おろやのふ

とく

きりやたふ

田所

いせやふ

ふ川町

すまやう

田所

ふまやう

坂

あまやふ

田所

ふりやふ

井つ

ふりやふ

ざうむ

ふりやふ

田所

ふりやふ

とく

ふりやふ

田所

ふりやふ

ふり

ふりやふ

田所

ふりやふ

ふり

ふりやふ

ふり

ふりやふ

田中

ふりやふ

卷之四

田中

丁巳

田何丁也

同

17

子

小兒

12

田所二丁五

升

揚至所之

金

17

界主

何

何

日二丁

何

何

井人

ちやうど

山若

さうやう

日

いふやう

尾河

さうやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

日

あつやう

井人

あつやう

井人

あつやう

中の人

より金持の

ふし者

りやきりや

こうだ

あひやほら

田中

ちやきりや

日

うらやきりや

日

あやきりや

牛かん

あやきりや

さきりや

たりやきりや

ちやきりや

ちやきりや

日

さきりや

さきりや

さきりや

田中

さきりや

大門

さきりや

田中

さきりや

田中

さきりや

日

さきりや

山崎

さきりや

田中

さきりや

田中

さきりや

日

さきりや

日

さきりや

さんや

さきりや

中下格三品

根之奇平以

所
也
故
有

平江府志

上

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

青石金剛寺

人々々々々

卷之四

[illegible]

命與

ふやうふ

みるゝなま

李仁堂

金車

かきくけこ

ひやうくわん

萬年金槍集

巴山紅杏

コ
ニ
シ
ル
色
ノ

表
紙
下
付
斗

コ
レ
合
式
細
見
ノ

